

第31回

ジュニア知事さん
入選作品集



令和5(2023)年度

とちぎの未来をつくる皆さんへ

小学校四・五・六年生の皆さんから、「もし私が知事になったら、こんなことをしてみたい」というテーマで作文を募集したところ、一、二七〇名の皆さんから応募をいただきました。本当にありがとうございました。

栃木県の魅力をたくさんの人に知ってもらうための提案をつづった作品もあれば、人と人の繋がりを題材にした優しさあふれる作品もあり、内容はさまざまですが、どの作品にも共通しているのは、「ふるさと“とちぎ”をより良くしたい」というまっすぐな想いです。皆さん一人ひとりが、栃木県の将来について真剣に考えてくださっていることを、心からうれしく、また頼もしく思っています。

今年（明治六（一八七三）年に栃木県が誕生してから百五十年となる節目の年です。未来の栃木県をつくる皆さんにお願いです。これからも、ふるさとを大切に思う気持ちを忘れず、栃木県への愛着を深めていってください。そして、ともに力を合わせ、未来に希望を抱き、ふるさとに誇りを持てる栃木県を築いていきましょう。

令和五年十二月十二日

も く じ

四年生

海洋古生物の化石博物館

みんなの広場

温かい場所

子ども総理大臣

子ども模擬裁判

五年生

スポーツで盛りあげよう栃木県

世界初のかんぴょうテーマパーク

人と人とのつながりを大切にする栃木県

コンビニ図書館

自動運転の力で安心・安全な未来へ

六年生

「栃木県 私だけの映えフォトスポット」大募集！

運動のできる図書館

『○○から来ました』カード』で交流を

農業の力で栃木県の明るい未来を作りたい

魅力がある県にするために

牛乳風呂

下野市立祇園小学校

小泉 直仁……………1

那須塩原市立東小学校

佐々木 彩葉……………2

上三川町立上三川小学校

塩田 龍絆……………3

下野市立緑小学校

細井 悠護……………4

真岡市立真岡小学校

松本 実子……………5

那須塩原市立大山小学校

浅羽 脩介……………6

下野市立祇園小学校

神谷 彩乃……………7

那須塩原市立三島小学校

君島 雪希穂……………8

下野市立祇園小学校

巷野 迪路……………9

下野市立古山小学校

山口 遥……………10

那須塩原市立東小学校

池井 雫……………11

那須塩原市立東小学校

福山 陽香……………12

下野市立古山小学校

増 渕 湊……………13

下野市立祇園小学校

峯 明日香……………14

那須塩原市立大山小学校

山根 瑚桜……………15

大田原市立紫塚小学校

渡村 勇輝……………16

海洋古生物の化石博物館

下野市立祇園小学校 四年

こいずみ なおと
小泉 直仁

ぼくが知事になったら、栃木県の海洋古生物の化石博物館を作りたいです。

栃木県は今は海に面していないけれど、大昔は、栃木県のほとんどが海の底にあったといわれています。実に、クジラの化石や貝の化石、セイウチ科の犬歯の化石が発くつされています。福島県のフタバズキリュウや和歌山県のモササウルスのような化石が栃木県内でも発くつされる可能性があるとぼくは考えています。

化石の発くつには、全国の化石ハンターをしょうたいして、大人も子どもも参加できるようにします。もし首長竜や海洋は虫類の化石が見つければ、博物館を作り「古生物の栃木」をアピールします。化石がなかなか見つからなくても「発くつ作業に参加できる栃木」は全国に広められると思います。化石になった生物が生きた時代を思うと、ワクワクします。栃木県を、そんな気持ちになれる場所にしたいです。

みんなの広場

那須塩原市立東小学校 四年

佐々木 ささき

彩葉 あやは

私が知事になったら「みんなの広場」を作

りたいです。そこは、だれでもゆっくり楽し

くすごせる場所です。そこでは、食や動物、

植物の良さを学ぶことができます。私のおす

すめは、次の三つです。

一つ目は、食の広場です。シェフやパティ

シエ、パンなどの勉強をしている人たちがこ

こで練習をし、作った物を来ている人たちで

食べます。材料は、栃木県の農家から、形が

悪く売り物にならないけれどおいしい野菜を

ていきょうしてもらいます。

二つ目は動物の広場です。ここでは、ほご

された動物たちとふれあうことができます。

三つ目は植物の広場です。ここでは、植物

を育て、それを見ることで心がいやされ、や

る気をもらうことができます。お年よりや心

がつかれた人におすすめです。

ここではできるだけ栃木県生まれのものを

使います。そこからみんなはパワーをもらい、

元気になれる場所にしたいと思います。

温かい場所

上三川町立上三川小学校 四年

塩田 しおた

龍絆 りゅうき

ぼくが知事になったら、子供からお年より
まで自由に通える新しい学校を作ります。
ぼくが知事になったら、子供からお年より
まで自由に通える新しい学校を作ります。

はなれてくらししているぼくのひいおばあち
やんはデイサービスに通っていますが、週に
決まった日数しか行けません。家族も予定が
あるので一人で家にいることがあります。
いろいろな年れいの人たちと話をしたり、本
を読んだり、昔の遊びを教えてもらったりし
て楽しくすごします。お昼ごはんは、みんな
が育てた野さいやお米を使って好きな物を作
り、みんなでいっしょに食べます。

ぼくも、平日は学校に通っていますが、土
日や夏休みなど学校が休みの時に家族が仕事
だったら、一人である守番をしています。
家族のように仲良く温かい気持ちになれる場
所にしたいです。

そんな時、だれでも自由に通える場所があ

子ども総理大臣

下野市立緑小学校 四年

ほそい
細井

ゆうま
悠護

ぼくが、栃木県知事になったら、子ども総理大臣を作りたいです。なぜかというところ、ぼくが小学一年生の時、大人たちが決めたまきゅうじたいせんげんによって、入学式が六月になってしまいました。楽しみにしていた入学式がのびて、とても悲しかったです。だから、子どもの話を聞いてくれる場を作りたいです。大人と子どもの区別をなくし、平等に生活したいからです。

でせんきよをして、それぞれの総理大臣を決めるのです。そして一ばんの子どもたちの社会へのぎもんをまとめて、リーダーとして、大人の総理大臣に伝え、話し合うのです。

子ども総理大臣を全国に広め、もっといろいろな子どもの声を聞いてほしいです。

ぼくが栃木県知事になったらやりたいことは、このような子ども総理大臣をじつげんすることです。

そのために、大人は大人、子どもは子ども

子ども模擬裁判

真岡市立真岡小学校 四年

まつもと みこ
松本 実子

テレビを見ていると、毎日日本のどこかで
事件や事故が起きているというニュースが流
れます。そんなニュースを見ていると、悲し
い気持ちと、難しい言葉がたくさん出てきて
頭が複雑になります。子どもでも分かりやす
く法律や裁判について学べる場があればいい
なと思いました。

それにより、コミュニケーション力の向上
を目指すことができ、また、法律や裁判につ
いて子どもでも興味を持てたらいいと思ひ
ます。そして、事件を減らし、県民が安心し
て生活できる栃木県を目指したいです。

そこで、私が知事になったら、子どもを対
象にした模擬裁判を定期的に行いたいです。
小学生から中学生の希望者を募集し、各市町

スポーツで盛りあげよう栃木県

那須塩原市立大山小学校 五年

あさば
浅羽

しゅうすけ
脩介

ぼくが知事になったら、スポーツでみんなが元気になる栃木県にしたいです。そう思ったのは、昨年行われたいちご一会国体で、いろんな種類のスポーツがあることを知ったからです。

スポーツはチームで協力して競技し、きずなを深めるものもあれば、一人で自分の力をみがくものもあります。

例えば、家族とのきずなを深めるために、月に一回、「家族スポーツの日」をつくり、

家族で同じスポーツを一緒に楽しむことをすすめます。これまであまり知られていない個

人スポーツを紹介し、そのスポーツの体験をしたり、技を覚えたりするとポイントがたまり、とちまるグッズと交換できるシステムを作りたいです。スポーツを通して、みんなが毎日楽しく、健康にすごせるとよりよい町づくりにつながります。

「スポーツといえば栃木県」とよばれるよ
うな、みりよくのある栃木県にしたいです。

世界初のかんぴょうテーマパーク

下野市立祇園小学校 五年

かみや
神谷
あやの
彩乃

日本のかんぴょうは、ほとんどが栃木県で作られています。かんぴょう作りを発てんさせるためには、多くの人にきょうみをもってもらう必要があります。

私が知事になったら、世界初のかんぴょうのテーマパークをつくりまします。かんぴょうが

どのように作られているのかを知ってもらおうために、かんぴょうの畑や工場を見学できるようにしまします。さらに、かんぴょう作りを体験できるようにしまします。かんぴょうのおい

しさを知ってもらうために、レストランやフードコートもつくります。かんぴょうグルメやデザートをたくさんつくり、新しい味を知ってもらいます。そして、日本だけではなく海外にも情報を発信してアピールしていきまします。

日本を代表するかんこう地となれば、栃木県に多くの人がおとずれ、その他のかんこう地や名物を知ってもらおうきっかけにもなりまします。

人と人とのつながりを大切にする栃木県

那須塩原市立三島小学校 五年

きみじま
君島 雪希穂
ゆきほ

現在、SNSを利用すると、世界中の人と簡単にコミュニケーションがとれ、一瞬でつながれる時代になっています。でも私は、顔を見て会って話すことや、インターネットから得る情報ではなく、実際に体験し、気づきや感動できる経験が、大切だと感じています。

そこで私が知事になったら、人と人とながらる栃木を目指し、「ふるさと栃木ホームステイ事業」を提案します。各市や町でホストファミリーを募集し、県内の学生を対象に

一般家庭に宿泊をし、地域の人との出会いや交流の機会をつくります。そして、その地域ならではの体験をし、人と古里に深く関われる時間をつくります。この事業は、人と人をつながりがあるからこそ、人への愛情・喜び・感謝が生まれることや、人と関わることで、とても温かいということに気付くことができ、同時に古里への興味や関心にもつながります。

私はこの事業で、栃木県を愛する人や人との出会いを大切にする人が増えてほしいです。

コンビニ図書館

下野市立祇園小学校 五年

巷野こうの
迪路みる

私が知事になったら、「コンビニ図書館」
を作りたいです。なぜなら、私は本が好きなので、コンビニで手軽に本を借りられたらいいなと思ったからです。そして、時間や休館日にかかわらず、利用できることが、便利なので、たくさんの方が使えるかと思ったからです。そのため、コンビニに、許可をもらい本のコーナーを作ります。そして、貸し出しカードを作り、リクエストの本はネットオーダーし、近くのコンビニで受け取りできるよ

うにします。本の移動にはバイクを使います。返却する時もコンビニです。コンビニには、いつも何かの本を置いておき、年れいごとにならなくてもだれでも借りることができるようになります。インターネット時代で、読書ばなれになつていと思うけれど、ネットオーダーシステムという、ネットのいいところを利用し、本好きの私としては、このような図書館があると、うれしいし、本を読む人がふえたらいいなと思いました。

自動運転の力で安心・安全な未来へ

下野市立古山小学校 五年

やまぐち
山口 遥
はるか

栃木県は自動車がないと不便な県です。私も家族と買い物に行ったり、習い事に行ったりするときは必ず車です。

でも、ニュースなどでは高れい者の自動車運転による交通事故が後をたちません。栃木県に住む高れい者の方や運転めんきよを持っていない方はこれから不便になっていくのではないでしようか。

そこで、私が考えたのは、自動運転の車、その名も「とちまるタクシー」です。出かけ

たい時に、電話一本でかけつけてくれるタクシーです。自動運転なので、高れい者の事故で多い安全不確認やハンドル・ブレーキそ作の間ちがいなどは起こりません。

そして、栃木県の地図が画面に映し出され、全車両がどこを走っているのか、リアルタイムで分かるようなシステムを作ります。そうすれば、トラブルにもすぐに対応できます。

みんなが安全に自動車に乗れて、便利で快適に過ごせる県にしていきたいです。

「栃木県 私だけの映えフォトスポット」大募集！

那須塩原市立東小学校 六年

池井いけい

雫しずく

栃木県はカメラ用交換レンズの出荷額が全国一位だということを知って私は驚き、全国的にも知られていないのではないかと思いました。そこで、「カメラ・写真の栃木県」としてアピールしたいと考えました。

みんなが撮りたがるような角度や撮り方での写真をアップしてもらいます。県外からも自分だけの穴場スポットを探しに來たり、注目された写真と同じ写真を撮りに來たりする人が増えると思います。

まず、SNSで「栃木県私だけの映えフォトスポット」を大募集します。栃木には美しい自然だけでなく、日光東照宮など素晴らしい世界遺産もあります。その中でも、まだ知られていない穴場スポットや有名な場所で、

また、道の駅や観光案内所などでカメラ用交換レンズを貸し出して試してもらいます。SNSに馴染みのない人にも栃木のきれいな写真を撮ってほしいです。写真を通じて、たくさんの人に來てもらえる栃木にしたいです。

運動のできる図書館

那須塩原市立東小学校 六年

ふくやま
福山
はるか
陽香

私が知事になったら、運動もできる図書館をつくりたいです。

私は図書館が好きで、よく行きます。本を借りたり読んだりするついでに運動ができたらい良いと思いました。特に夏は暑く、なかなか外で遊べません。室内で運動できる場所もあまりなく、運動不足になってしまいます。運動を図書館のできるようにすれば、運動不足解消ができます。さらに、普段本を読まない人も行ってみたいと興味をもってもらえば

本を読むきっかけになると考えました。

運動のできる図書館は、本コーナーと運動コーナーに分かれています。運動コーナーには、トランポリンやボルダリング、室内でできるゴルフやアスレチックなど、子供から大人まで楽しめるものを設置したいです。本コーナーには、いすや机を色々な所に置き、どこでも読書や宿題ができるようにしたいです。この図書館を栃木県の各市に作りたいです。

「『〇〇から来ました』カード」で交流を

下野市立古山小学校 六年

ますぶち
みなと
増湊

僕が旅行をしたとき、一番思い出に残るのは現地の人たちとの交流です。「どこから来たの？」と聞かれ「栃木」と答えることで、帽子やバッグにつけてもらおう考えです。

話がはずみ、漁船に乗せてもらえたり、グルメ情報を教わったりしたことがありました。僕も栃木県を訪れた人たちに栃木県の良いところをたくさん教えてあげたいです。そこで僕は「『〇〇から来ました』カード」と考える人が増えると思うし、買ってくれたの発行を提案します。このカードは県のHPや駅、旅館、バス・タクシーなどで手に入れ

ることができ、〇〇には自分の出身地を書き、そのカードが見えることで、観光に来てくれた人たちの交流が生まれやすくなり、県内でおまけやサービスをしてくれるお店も出てくるかもしれません。そうすることで「また栃木県に行きたい。」とお土産の情報などを集めることで、新たな商品の開発などにもつながると思います。

農業の力で栃木県の明るい未来を作りたい

下野市立祇園小学校 六年

峯 みね
明日香 あすか

私が知事になったら、小学校の授業に「農業」を取り入れたいです。

SDGsにもこうけんできます。

私のじいちゃんは畑仕事が好きです。あまり好きではない野菜もじいちゃんが作った野菜はなぜかおいしく食べられます。今年じいちゃんからミニトマトの苗をもらって自分で育てました。毎日お水をあげて少しずつ大きくなるトマト。自分で育てたので大切に食べました。だから子供の時に「農業」の勉強をすれば、みんながもっと食べ物を大切にす

また、栃木県の食料自給率を調べたら、何年も70%くらいで変わりがありませんでした。子供の時に「農業」を勉強すれば、将来農業を仕事にする人も増えて、栃木県の食料自給率も上がると思います。

学校で育てたので大切に食べました。だから子供の時に「農業」の勉強をすれば、みんながもっと食べ物を大切にす

学校で育てたので大切に食べました。だから私が知事になったら、食品ロスを減らし、栃木県の食料自給率を上げるため、小学校の授業に「農業」を取り入れたいです。

魅力がある県にするために

那須塩原市立大山小学校 六年

やまね
山根

こはる
瑚桜

私が知事になったら、栃木県の魅力度を上げるためにバーチャルと現実を組み合わせたいです。ウォークラリーを作りたいです。

栃木県には様々な自然があります。ウォークラリーをしながら、季節ごとのいろいろな

自然と触れ合えば、たくさんの方が栃木県の魅力を知ることができると思いました。

このウォークラリーでは、まずバーチャル上で栃木県の観光名所を巡りクイズをします。全問正解した人は最後のクイズに挑戦できま

すが、最後のクイズは現地に行かないと分かりません。このウォークラリーを通して人々

が楽しく自然と触れ合うことができると思いますが、そしてゴールにいたら、景品として栃木県の特産品を渡します。

私は、他の県の人や栃木県の県民がもっと栃木県の自然のことを知って、「栃木県って

良いところだな」「栃木県に住んでみたい」と思っ
て欲しいです。そして、栃木県をもっと魅力のある県にしたいです。

牛乳風呂

大田原市立紫塚小学校 六年

わたむら
渡村

ゆうき
勇輝

栃木県は、関東地方最大の面積を有し、世界にほこれる自然や文化があります。ゆったりくつろげる温泉やおいしいいちごや牛乳などが有名です。

ぼくはなかでも「牛乳」を紹介したいと思います。乳牛の飼育頭数は、北海道の次の全国二位です。もっと、牛乳を使って栃木県の名産品を作らないと、もったいないと思います。そこでぼくが知事になったら牛乳風呂を作りたと思います。栃木県には、広大な

土地や温泉がたくさんあります。牛乳風呂の温泉施設を作って、全国の人に遊びに来てほしいです。牛乳風呂は、保湿効果や、リラックス効果があり、お肌にうるおいをあたえてくれます。ぜひ、普通の温泉とは違う魅力を知ってもらいたいと思います。おみやげに、家でも使える牛乳風呂の入浴剤も、作ってみたいのです。牛乳を生かしたおかしも作って、栃木県をもっと有名にしたいです。

令和五年度「ジュニア知事さん」には、

県内の小学校四・五・六年生のみなさんから、

一、二七〇点（四年生 三九五点、五年生 四六〇点、

六年生 四一五点）の応募がありました。

なお、知事賞の選考にあたりましては、下記の

方々に選考委員として御協力いただきました。

選考委員

（敬称略）

栃木県おもちゃ図書館連絡会 会長

とちぎおもちゃ図書館 館長

石河不砂

栃木県小学校教育研究会 国語部会長

宇都宮市立緑が丘小学校 校長

皆川美弥子

栃木子どもの本連絡会 会長

大音由里

文星芸術大学 名誉教授

林香君

栃木県子ども総合科学館 館長

神山正幸



150

栃木県誕生150年
みんなで創る、未来のとちぎ